

釣り人アンケートの結果について

○「琵琶湖ルール」について

「琵琶湖ルール」の存知状況は、県内居住者と同程度の人知っている結果となった。
また、県外在住者向けアンケートと同じく、「琵琶湖ルール」という名前を知らない人は約41%いるものの、外来魚のリリース禁止については約97%の方が知っている結果となった(図1、図2)。
外来魚を釣り上げた際にリリースするという人の割合は、19%(105人中20人)となっている(図3)。

○外来魚のリリースについて

釣り上げた外来魚の処理について、「リリースをする」と答えた人のうち、ほとんどの人が外来魚のリリースが禁止されていることを知っていると答えている。

○使用ルアーについて

多くの方がハードルアーとソフトルアーの両方を使っており、個別に使っている方ではハードルアーよりもソフトルアーを使う方が多い結果となった(図4)。

使用ソフトルアーの材質については、生分解性プラスチックよりも従来のプラスチックを使用されている方が多い結果となった(図5)。

(1) 調査について

調査期間: 令和2年8月1日から8月30日の間

調査対象: 琵琶湖岸で釣りをされている方

調査方法: 聞き取り

湖岸で釣りをしている方にアンケート(聞き取り)

回答者数: 105人

回答者の居住地: 県内47人(44.8%)、県外58人(55.2%)

(県外居住者の内訳 京都21人、大阪17人、愛知9人、奈良3人、岐阜2人、その他6人)

(2) 結果概要

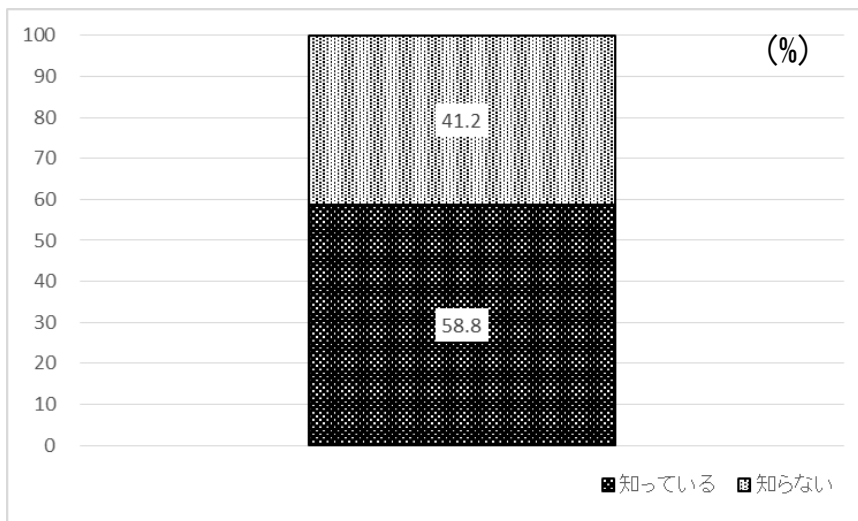


図1 「琵琶湖ルール」の存知割合(釣り人)



図2 外来魚のリリース禁止について

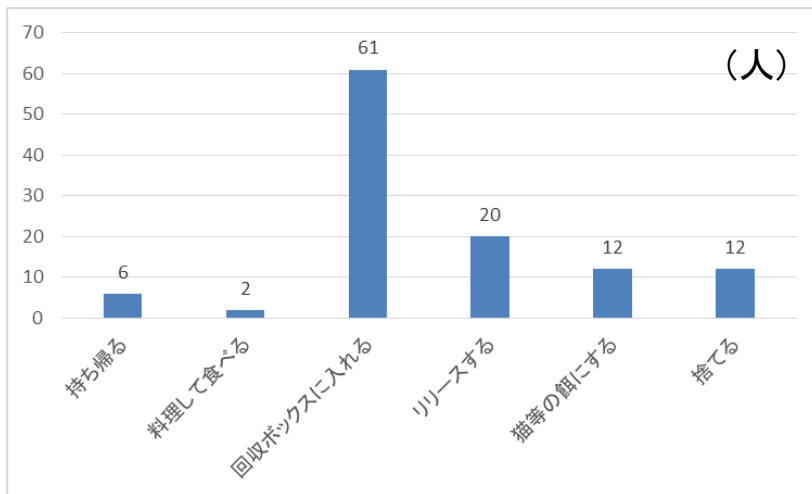


図3 釣り上げた外来魚の処理について

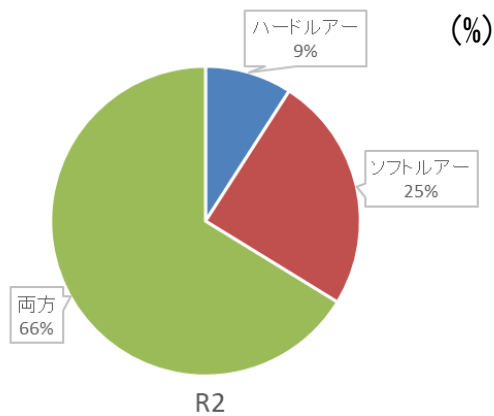


図4 使用ルアーの種類について

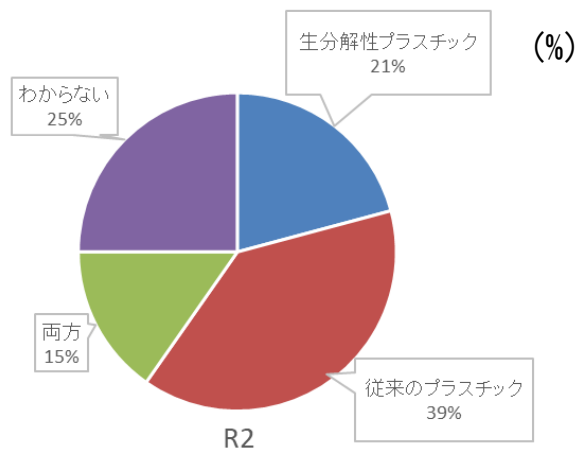


図5 使用ソフトルアーの材質について